

CT 検査を受けられる方へ - 放射線の影響について -

2026 年 1 月改訂

*なぜ放射線検査を受けるの？（正当化）

CT 検査ではエックス線を用いて、身体の断面を撮影し、体内の様々な病気やけがを発見することができます。

「放射線のことを心配で検査を受けなかったために、あなたの病気やけがの状態がわからず、症状がよくなるらない」ということは、最も避けなければなりません。

放射線のことを心配なときは、担当医師とよく相談し納得したうえで検査を受けてください。

*放射線が身体に及ぼす影響について

受けた放射線の量が 100 ミリシーベルト未満であれば、放射線検査を受けた人も受けなかった人も、発がん率や遺伝的な影響の差はないと言われています。

*CT 検査で用いる放射線の量について

通常の CT 検査で、100 ミリシーベルトを超えることはありません。

お子様の場合は、体格を考慮して大人よりも少ない放射線の量で撮影しています。

当院の CT 検査は国内基準より抑えて検査を行っています（最適化）

	部位	国内基準	当院	
		1 スライス of X 線 量 (ミリグレイ)	1 スライス of X 線 量 (ミリグレイ)	実効線量 ¹⁾ (ミリシーベルト)
成人	頭部	67	52	0.8
	胸部	11	7	8
	胸部～骨盤	13	9	11
	上腹部～骨盤	14	9	11
	肝臓造影	13	9	7
	冠動脈のみ	57	49	22

Philips 社製 128 列マルチスライス CT CT7500 での結果

1)実効線量：人体が放射線を受けた時、体全体へのダメージの合計を表したものの